

特許電子図書館 (IPDL) の概要

平成20年2月22日
特許庁

特許電子図書館 (IPDL) とは

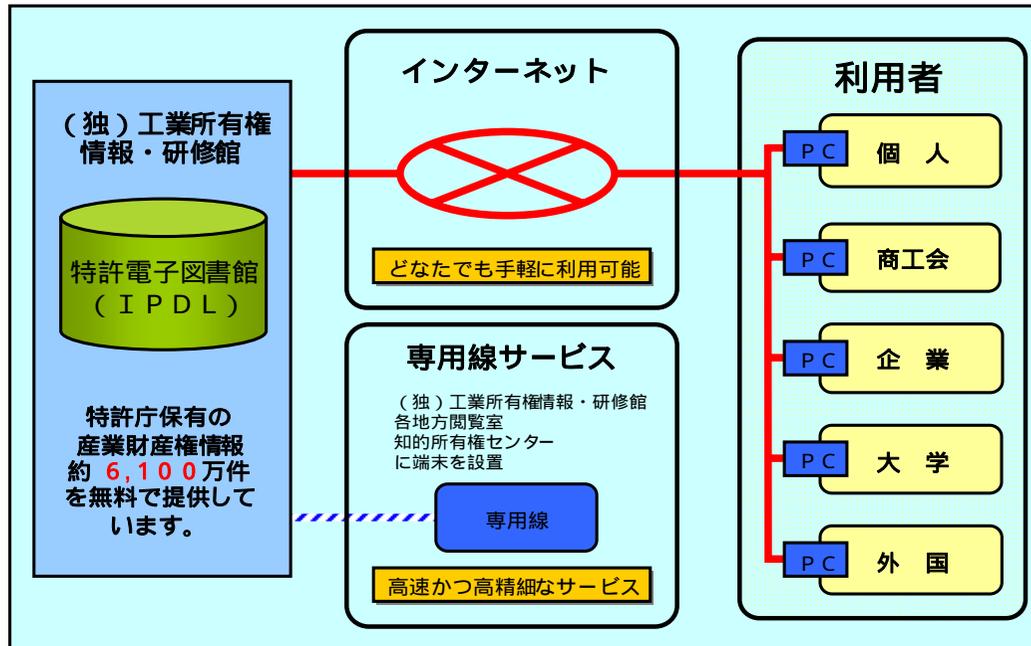
特許電子図書館 (IPDL: Industrial Property Digital Library) は、インターネットを通じて、誰もがいつでもどこからでも無料で利用できる産業財産権情報の検索・閲覧サービスである。

IPDLは、インターネットの普及や産業財産権情報の重要性の高まりの中、産業財産権情報を誰もが容易に利用できるよう1999年3月から開始された。

特許庁が発行する明治以降の特許・実用新案・意匠・商標に関する公報類や、それぞれの出願の審査状況が確認できる経過情報等、約6,100万件の産業財産権情報を提供している。

IPDLは、機能・サービスを順次拡充しており、**2008年3月末に、特許公報全文テキスト検索**(テキスト検索の対象を、書誌・要約・請求項から発明の詳細な説明を加えた公報全文に拡大)をリリース予定。

特許電子図書館 (IPDL) の概要



特許電子図書館の蓄積データ (2007年5月末)

特許・実用新案	約3,200万件
意匠	約160万件
商標	約610万件
外国特許文献	約1,800万件
その他	約330万件
合計	約6,100万件

IPDLの運営管理は、2004年10月に(独)工業所有権情報・研修館に移管された。

特許電子図書館の豊富なサービス・メニュー

1. 特許・実用新案の検索
2. 商標の検索

1. 特許・実用新案公報DB
2. 特許・実用新案文献番号索引照会
3. 公報テキスト検索
4. 公開特許公報フロントページ検索
5. 特許分類検索
6. パテントマップガイダンス
7. パテントマップガイダンス(旧)
8. PAJ検索(英語表示)
9. FI/Fターム検索(英語表示)
10. 外国公報DB
11. 審査書類情報照会
12. コンピュータソフトウェアデータベース(CSDB)検索

1. 番号照会
2. 範囲指定検索
3. 最終処分照会



1. 商標公報DB
2. 商標文献番号索引照会
3. 商標出願・登録情報
4. 称呼検索
5. 図形商標検索
6. ウィーン図形分類リスト
7. 商品・役務名リスト
8. 商品・サービス国際分類表
9. 書換ガイドライン
(国際分類第9版対応)
10. 日本国周知・著名商標検索
11. 不登録標章検索

1. 意匠公報DB
2. 意匠文献番号索引照会
3. 意匠公報テキスト検索
4. 日本意匠分類・Dターム検索
5. 意匠公知資料照会
6. 分類リスト
7. 分類リスト(外国)

1. 審決公報DB
2. 審決速報
3. 審決取消訴訟判決集

・約50種類のサービス(英語版を含む)
 ・検索方法:文献番号、ワード、分類検索

<http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepg.ipdl>

特許情報の活用を支援するアドバイザー ～ 特許情報活用支援アドバイザー～

地域における中小・ベンチャー企業や大学・研究機関等の技術開発、特許取得・管理等を支援するため、特許情報活用支援アドバイザーが、特許情報に関する皆様のご要望にお応え致します。

サービス内容は？

IPDL等の特許情報の検索の方法(デモンストレーション含む)や効果的な活用に関してご相談いただけます。
また講習会の開催や出前セミナーも行っています。

どこにいるの？

地方自治体に派遣されています。

いくらかかるの？

無料です！

【人数】(2007年度)
特許情報活用支援アドバイザー:54名
【活動実績】(2006年度)
来訪活動:16,662件、訪問活動:8,736件
このうち大学への訪問活動:531回

課題解決実習 時間割

日程	実習項目	実習内容	メモ	場所	備考	
10月27日(土) (学生は自由参加)	12限 8:45~12:00	課題の情報収集と分析	各教員からの課題提案	課題提供者からの説明と討議、チューター・課題提供者との討議	医学部基礎第3講堂	全員
	*13:00~15:25	課題決定・技術解析(I)	現有要素技術マップの作成	チューター・課題提供者との討議	医学部基礎第3講堂 医学部サテライト	グループA(13:00-15:25) グループB(15:35-18:00)
	*15:35~18:00				サテライト	グループA(15:35-18:00) グループB(13:00-15:25)
10月28日(日) (学生必須)	12限 8:45~12:00	特許とは	特許について	小林良平	医学部基礎第3講堂	全員
	3限 13:00~14:30	特許情報の収集	情報収集、特許マップの作成	小林良平・中野 剛	医学部基礎第3講堂	全員
	4限 14:45~16:15	医療サイドからの情報提供	現在の臨床検査法と検査機器、および最近の方向性	高倉 俊二	医学部基礎第3講堂	全員
	5限 16:30~18:00	課題解決・技術解析(II)	解決しなければならない問題点の抽出、現有要素技術マップの作成	チューター・課題提供者との討議	医学部基礎第3講堂	全員

講師派遣例:大学の実習科目
「特許情報の収集、特許マップの作成」

論文情報と特許情報の統合検索システム(概念図)

